

スティーレ ターニケットカフ

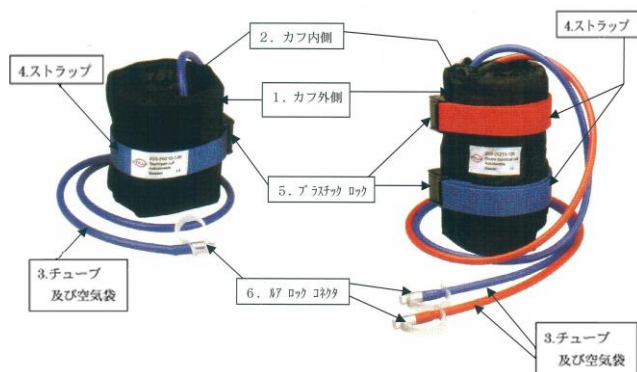
【警告】

神経、筋肉、組織を損傷から守るためには全体の手術時間が2時間を超えてはなりません。長時間にわたる手術の場合は、ダブルカフを使用して、15 分間隔で近位部と遠位部を交互に切り替えること。

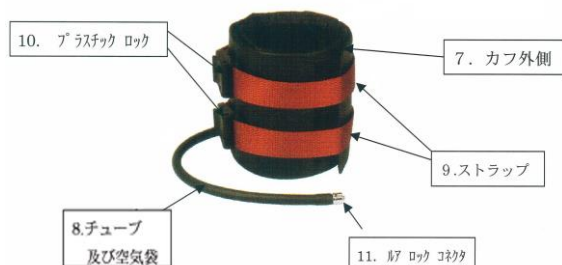
【禁忌・禁止】

血圧測定用のカフとして使用しない。【止血用カフとして製造されている為】

【形状・構造及び原理等】

1) シングルカフ・タイプ
(シリコンチューブ製)2) ダブルカフ・タイプ
(シリコンチューブ製)

1	カフ外側	ポリアミド、アクリル繊維
2	カフ内側	ポリエステル繊維
3	チューブ及び空気袋	シリコン
4	ストラップ	ポリプロピレン
5	プラスチック ロック	プラスチック
6	ルア ロック コネクタ	ステンレス鋼

3) シングルカフ・タイプおよびダブルカフ・タイプ
(ラバーチューブ製)

7	カフ外側	ファイバークラス繊維
8	チューブ及び空気袋	ネオプレン
9	ストラップ	ポリプロピレン
10	プラスチック ロック	プラスチック
11	ルア ロック コネクタ	ステンレス鋼

** 【使用目的又は効果】

本品は、再使用することを目的としたバンド状の用具で、上下肢（腕又は脚）に装着して、循環の抑制及び遠位部への正常血流又は遠位部からの正常血流を遮断することを目的とする。加圧を調整する止血器とともに用いる。カフには、シングルカフ・タイプと、加圧部位を変化させることができるダブルカフ・タイプとがある。

** 【使用方法等】

1. 使用前の準備
 - 1) 組織を圧迫する為にエスマルヒ駆血帯を遠位から近位に巻くか、2 分間、局部の肢を上げておく。
 - 2) カフのチューブを止血器に接続する。
 - 3) 大腿または上肢にカフを巻きプラスチックロックで固定する。このとき、シリコンチューブの幹線が肢を包み込む大きさのものを、しわ、たるみが出来ないように出来るだけ滑らかに巻き、ホースが必ず近位方向に向くようにする（大腿または上肢のほうか押さえる組織や筋肉の容積が多いので、神経損傷の可能性が低くなる）。
2. 使用中の操作
 - 1) エアをカフに満し、圧力を適宜上げていく。最適の圧力（つまり収縮期の圧力より 50—100mmHg 高い圧力）（体格の大きな肥満した患者の場合は 150—200mmHg）を得るのに必要とする圧力を決める要素はカフの幅で、カフの幅が広いほど圧力は少なくて済む。
 - 2) ダブルカフのチューブの幅はシングルカフのチューブの幅より狭く構成されているので、ダブルカフを使う場合は、先に述べた圧力より 25—75mmHg 上の圧力をかけて使用する。
 - 3) 加圧していくとき、皮膚、神経を損傷させないように常に一番低い圧力からスタートし、それから必要であれば徐々に圧力を上げていく。決して大腿の場合で 500mmHg、腕の場合で 250mmHg を超えてはならない。
 - 4) 神経、筋肉、組織を損傷から守るためには全体の手術時間が2時間を越えないようにするが、長時間にわたる手術の場合にはダブルカフを使って、15分間隔で近位側と遠位側を交互に切り替えて行う。
3. 使用後の処置
 - 1) 術後、カフを外すために、エアを抜き、プラスチックロックを解除する。そして、巻きを解放する。
 - 2) 柔らかく湿った布でカフの外側を拭き取る。表面の汚染を除去するにはマイルドな石鹼水か殺菌性のある洗剤を使用する。また、シリコンチューブ製の“Autoclavable（オートクレーブ滅菌可）”の表示のあるターニケットカフはすべて洗浄器で洗浄し乾燥器にかけることもできる。
 - 3) 洗浄器および滅菌器からの水がチューブを通してシリコンチューブ部分に入らないようにするため、洗浄する前にチューブのルアロックコネクタにルアロック・キャップを被せる。
 - 4) このキャップを装着したままオートクレーブ滅菌をかけ、そのまま保管する。次回の使用時、カフを患者に装着した後、本体側のチューブと接続する際にキャップを外す。
 - 5) 洗浄器およびオートクレーブ滅菌を 40 回かけたシリコンチューブ製カフ、ならびにオートクレーブ滅菌を 15 回かけたラバーチューブ製カフは使用にあたっては特に念入りに事前検査をする必要がある。

オートクレーブ滅菌条件例：

(1) シリコンチューブ製

温度	134℃	121℃
気圧	3気圧	2気圧
滅菌時間	5分	20分

(2) ラバーチューブ製

温度	121℃
気圧	1.5気圧
滅菌時間	30分

【使用上の注意】

1. カフを当てている時間、付加する圧力、カフの位置及びカフの大きさは、患者を慎重に診断してから決定すること。(位置や時間が不当であると、治療した部位の神経または軟部組織に損傷を与えることがある。)
2. カフには、窒素ガスまたは圧縮空気のみを使用すること。
3. 洗浄器およびオートクレーブ滅菌を40回かけたシリコンチューブ製カフ、ならびにオートクレーブ滅菌を15回かけたラバーチューブ製カフは使用にあたっては特に念入りに事前検査をすること。

**【保管方法及び有効期間等】

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

**【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

ガデリウス・メディカル株式会社

電話番号：042-769-3221

* ＜製造業者＞

スティーレ (Stille AB)

＜製造先国＞

スウェーデン